

## 「クラブを訪問して」

国際ロータリー第2640地区IM7組

ガバナー補佐 小林 英樹 (高師浜ロータリークラブ)



私の担当はIM7組で、高石、羽衣、大阪金剛、高師浜の4クラブです。

各クラブとも同じような活動をしていると思っておりましたが、事業計画を拝見し、それぞれが素晴らしい特長のある活動をしていることに驚きました。クラブ協議会として4クラブを訪問させていただきましたのは、秋の気配が強まりつつある9月下旬でした。

最初に9月21日に大阪金剛RCを訪問させていただきました。こちらの特長は清掃活動として狭山池クリーンアクションに参加したり、青少年健全育成として狭山青少年フェスタ2006に中学校・高等学校吹奏楽部と狭山フィルハーモニックオーケストラが参加して演奏を行なうなど地域に密着した社会奉仕活動及び国内4クラブ(大阪金剛RC・宇城RC・阿波徳島RC・阿南中央RC)が友好親善関係にあることです。

次に9月26日に高石RCを訪問させていただきました。創立40周年という伝統あるクラブであり青少年育成に力を入れておられます。2640地区76クラブ中インターアクト(清風南海学園・羽衣学園)の2校を支援しておられます。2640地区の中に2校を支援しているクラブは他にはありません。

9月28日に訪問したのは私の所属する高師浜RCです。社会奉仕として市民ふれあいウォーク(600名参加)、高石市の小学3～4年生に模型飛行機の製作と実践を開催し大変好評を博しております。国際奉仕では韓国昌原RCとの姉妹提携をしております。

最後に9月28日に羽衣RCを訪問させていただきました。4名の短期交換派遣学生と2名の長期派遣学生の受入の実施など青少年交流に力を入れて効果を挙げておられます。また北中委員長が青少年問題のプロフェッショナルで、長年真剣に取り組んで、多くの実績を残しておられます。

特に地区職業奉仕委員会の角谷浩二委員長はクラブ職業奉仕委員長会議報告「職業奉仕とは何か」の中で「職業奉仕とは、職業倫理の運動であり、世のため人のために奉仕する心をもって職業を営むべし」とし、国際ロータリーの職業奉仕、社会奉仕をCLPでは「奉仕プロジェクト」部門の小委員会とする考え方に疑問を呈し、「職業奉仕なくしてロータリーはありえない」と言う言葉で締めくくられており、非常に感銘を受けました。

ロータリークラブで多くの人と知り合い、三軒ガバナーのご指導の下に仕事をご一緒させていただいていることに、大変感謝しております。

最後になりましたが、ガバナー補佐として皆様のご協力に感謝するとともに、暖かい応対をいただいた皆様に心より御礼を申し上げます。